

## 他人事ではなく自分事として、ともに団結してガンバロー！



9月30日（土）から10月1日（日）に兵庫県神戸市において、三地連府県職現業会議が開催されました。また、9月22日（金）から23日（土）に石川県金沢市において、北信地連代表者会議が開催されました。それぞれ自治労現評県職現業部会においての意見交換を行い、各県単組の取組みなどを交流し有意義な会議となりました。

各県での取組みや課題については、下記の別表をご確認ください。ポイントは3点です。第一には、欠員補充について早急に行わなければ県民サービスが低下するのみであり、費用についても増加の一途をたどるのみだということです。第二は、現業職員の昇任昇格が遅いことです。現場力の低下につながる給与水準では、

良い仕事ができるわけがありません。第三は、現業職員の危機感の低さに問題があるのではないのでしょうか。この事については、あくまで私個人の感じ方でしかないかもしれませんが。

確かに長野県現業協議会は他県と比べても類を見ない条件での任用替ができました。しかしながら、ダム操作技師などの正規職員への欠員補充については一人もありません。県民サービスの水準が維持できているのは、現場において何とかしているからに他なりません。そのしわ寄せは現場の職員が受けているのではないのでしょうか。休みが取れない、サービス残業が恒常化している等々問題だらけでは!? いつ問題が解決するのでしょうか。 **交渉をしていくのは今でしょ！**

10月27日に現業独自要求回答交渉があります。連帯を深め、要求を勝ち取るためにも多くの組合員の参加を！

(別表)

富山	<ul style="list-style-type: none"> <li>任用替した職員を含む組織は、その位置づけが変更されると考えており、それを踏まえつつ従来の良好な労使関係のもと話し合う</li> <li>52歳以上かつ3級94号俸以上を満たすものは、4級格付を行う</li> </ul>
石川	<ul style="list-style-type: none"> <li>2017年4月に農業技術員を2名採用</li> </ul>
福井	<ul style="list-style-type: none"> <li>行Ⅰ表5級への昇任昇格について、経験と職責に応じた職務内容が必要</li> <li>技能労務職は行Ⅱ表独自表を採用</li> </ul>
三重	<ul style="list-style-type: none"> <li>元現業職員を一つの技術系職種とする職種名「技術専門員」とする</li> <li>林業研究所の再構築業務での退職補充・新規採用を確認、技術継承ができる人事管理が可能であることが確認できたことから一般競争C試験による新規採用を計画に反映することを確認（職務によっては早期採用もある。）</li> <li>41歳以上主査、51歳以上主幹</li> <li>総合土木職等について、一般競争試験による採用については引き続き協議を行う。</li> </ul>
静岡	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要人員を精査したうえで現場の安全管理や技能継承の観点から業務の執行上、必要と認められる場合に常勤職員(行Ⅱ)を採用(再任用・退職者の後任)</li> </ul>
岐阜	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路作業手当について、一般職と現業職で差があるので、見直しの要求をしている</li> <li>農業技手3名採用予定。また、自動車運転手及び、衛生技術員は今後も採用する</li> <li>再任用職員の格付について、一般事務は、退職時の級から2級下がり、現業職は給料表3級までなので1級に下がる</li> </ul>
滋賀	<ul style="list-style-type: none"> <li>特記事項なし</li> </ul>
大阪	<ul style="list-style-type: none"> <li>運転手10名、守衛15名は、定数(知事警護を兼ねているため)</li> </ul>
兵庫	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成31年に県立病院と日赤病院を統合予定、調理員8名いるが、全面委託について交渉中、8名については異動になりそう</li> </ul>